

「荒尾市におけるスマートシティ推進と 地域活性化に向けた連携協定」 協定内容について

2020年5月22日
株式会社NTTドコモ

ドコモの中期取り組み

ドコモは中期戦略2020「beyond宣言」の取り組み方針として6つの宣言を定めました。その中の「ソリューション協創宣言」では、パートナーとの協創を進めていくことで社会課題を解決し、日本の成長と豊かな社会をめざす地方創生への取り組みを推進していくことを宣言しています。

6つの宣言の一つとして、地域協創に取り組む

中期戦略2020 **beyond宣言**



連携協定内容の全体概要イメージ

① 5G等の先進技術を活用した 安心・安全な街づくり

警備ロボット

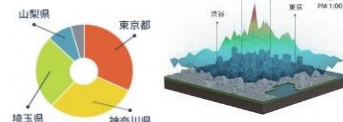


AIカメラ



② 観光・まちづくり推進

人口動態データ等のビッグデータ活用や
EBPM等の取り組み



ヘルスサポート
ロボット



利便性向上や周遊促進
を目的としたバイクシェア



③ 賑わいによるあらおファンづくり

エンタメコンテンツによる「あらおの魅力」を発信



SMART
city



④ Society5.0に向けた 住民等のスキルアップ

ITセミナー、5G体験会やスマホ教室の開催



⑤ 地域産業の生産性向上

センサー等のICTを活用したスマート農業の推進



荒尾梨



有明海苔



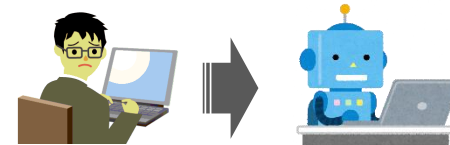
⑥ 教育環境の向上

ICTを活用した教育環境を整備



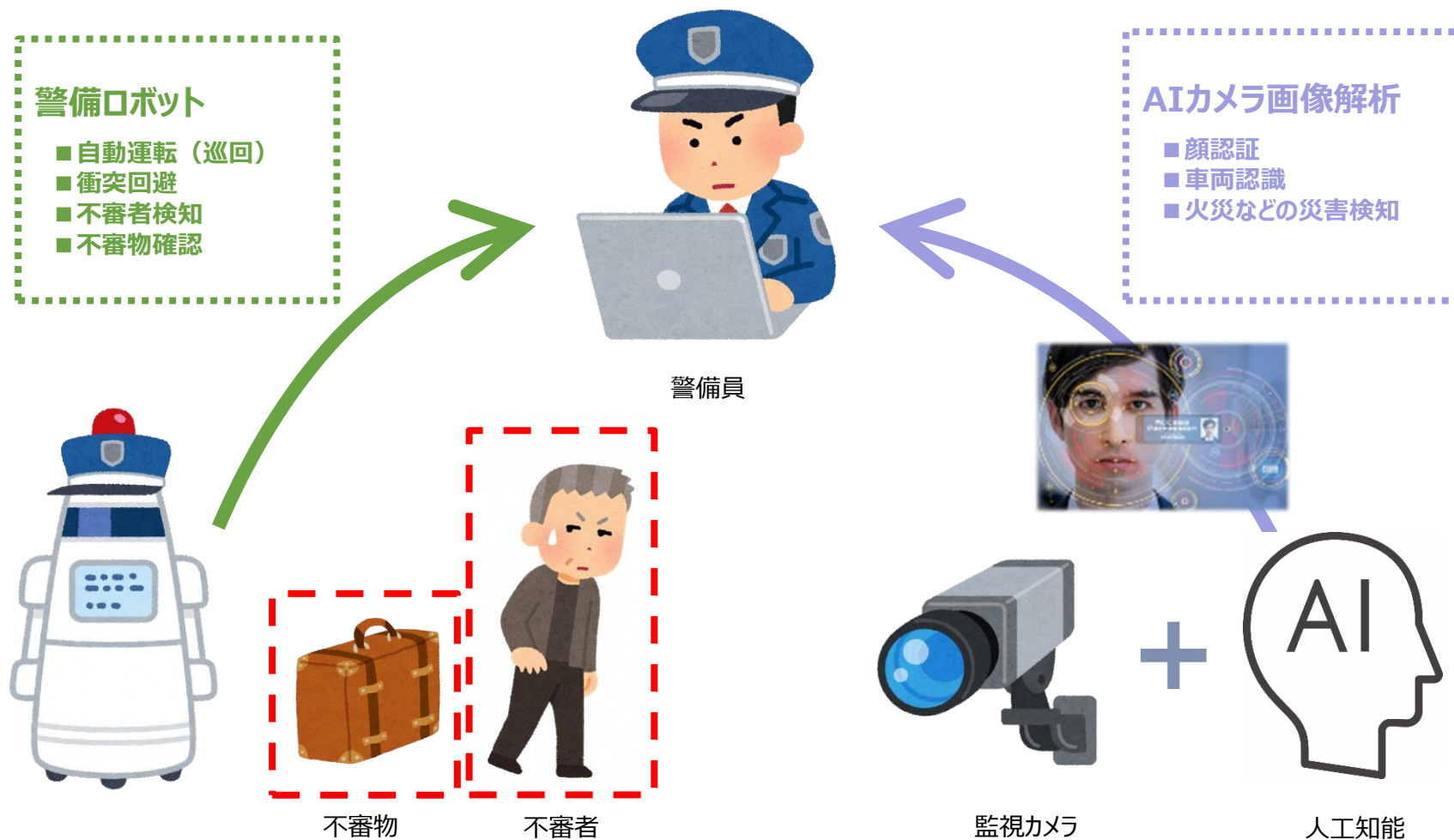
⑦ 地域活性化及び市民サービスの向上

RPAを活用した業務の効率化



(1) 5G等の先進技術を活用した安心・安全な街づくりに関すること

■ 5G・AI技術等を活用した安心・安全向上に関する取り組み
・ロボットを活用した警備サービスやAIカメラを活用した画像解析等による人物検知・不審物検出の取り組みを検討することで、住民や来訪者にとって安心・安全な街づくりをめざします。



(2)観光・まちづくり推進に関すること

- 健康都市づくりを目指した市民の健康促進に向けた取り組み
- ・ヘルスサポートロボットや健康ポイント事業（健康マイレージ等）の活用を検討し、市民の健康づくりの習慣化と地域の活性化をめざします。

ヘルスサポートロボで健康状態をチェック

気軽に健康状態をチェックすることが可能なため、市民の健康意識を高めることができます。



医療機関と連携すれば
様々なフォローアップも可能

健康ポイントで地域の活性化を推進

健康づくりに関する活動によってポイントがもらえ、割引券などの特典と交換などができます。

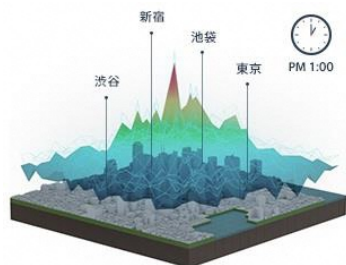


(2) 観光・まちづくり推進に関すること

- 人口動態データ等を活用したEBPMに関する取り組み
- ・ドコモの携帯電話の仕組みを利用した位置情報及び顧客属性のビックデータと、ウェルネス拠点内施設や道の駅の利用情報などのデータを連携させた解析等の取り組みを検討します。

“いつ” “どんな人が” “どこから” “どこに” 動いたかが分かる新たな人口統計

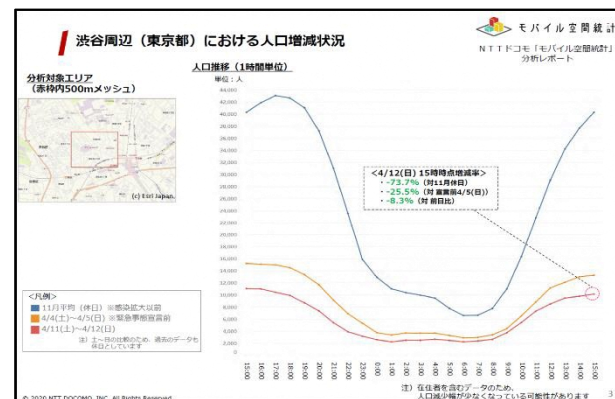
新たな人口統計



端末数から人口を推計「**拡大推計**」

国内 約7,800万台 (※2)
訪日外国人 約1,200万台 (※3) の運用データ (※4)

「モバイル空間統計」を利用した 政府等の対応前後の人口変動分析



- (※1) EBPMとは、Evidence Based Policy Makingの略。証拠データに基づく政策立案のこと
- (※2) 本台数を基に法人名義やMVNO等の台数を除去して推計 (2020年3月現在)
- (※3) 2019年実績
- (※4) 携帯電話をいつでも接続可能な状態に保つために必要なデータ

(3)賑わいによるあらおファンづくりに関すること

- あらおオリジナルのエンタメコンテンツをつくり、あらおファンを増やす取り組み
- ・ 来訪者にあらおの魅力を発信しながら、リピーターになってもらうなど、「あらおファン」づくりに取り組みます。

AR/VRなどを活用した荒尾の魅力発信



万田坑（名所）



グリーンランド（遊園地）



荒尾干潟

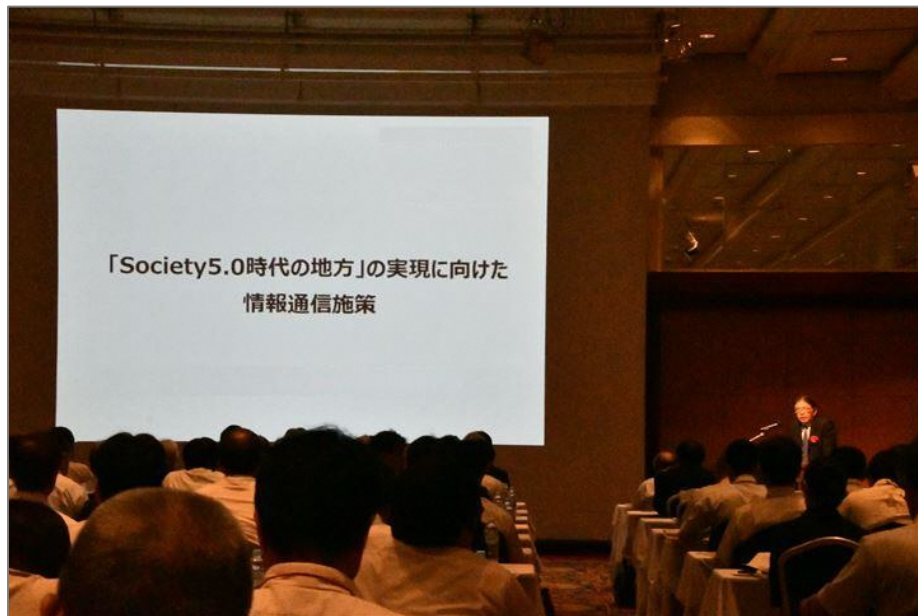
(4) Society5.0に向けた住民等のスキルアップに関すること

- 5 G等の先進技術の情報提供に向けた取り組み
- ・ウェルネス拠点内施設における出張型スマホ教室や、ウェルネス拠点に関わる市職員等関係者向けに、5 Gや先進技術に関する情報提供を行います。

出張型スマホ教室開催



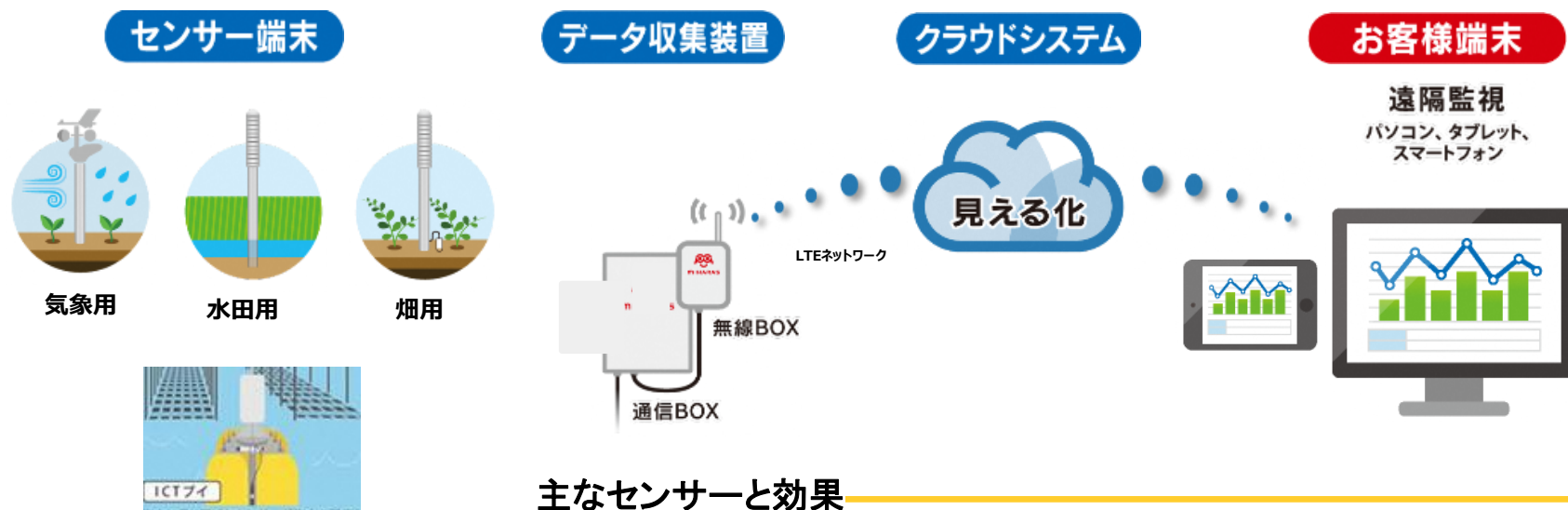
セミナー・勉強会開催



(5)地域産業の生産性向上に関すること

■スマート農業の推進に向けた取り組み

・先進技術を活用した「スマート農業」を推進し、センサー等の活用を検討することで、荒尾梨や海苔などの市内特産品の生産性や品質向上をめざします。



主なセンサーと効果

- 農業用:「気温」「湿度」「水位」「水温」「地温」等
⇒見回り省力化し、生産性向上に貢献
- 畜産用:「体温」
⇒分娩の兆候、異常を感知し、分娩事故防止に貢献
- 水産用:「水温」「塩分濃度」「溶存酸素」等
⇒経験や勘をデータで補い、品質向上に貢献

(6)教育環境の向上に関すること

■ 教育環境の向上に向けた I C T の取り組み

・タブレット端末等のICT機器導入による教育環境の整備を検討し、荒尾市の将来を担う子どもたちの学力向上と、主体的・対話的な深い学びの実現に取り組むとともに、教育現場における教職員の負担軽減をめざします。

ビジョン策定から導入後までのトータルサポート

～ドコモは「教育ICT導入のパートナー」～

未来を見据えた
計画づくり

ICT導入のビジョン
策定からご提案

負担の少ない
ICT運用の提供

LTEタブレットによる
運用の手間軽減

丁寧な活用支援
のお手伝い

管理職、ICTリーダ等
幅広い研修



信頼性の高いLTE通信環境



将来を担う子どもたちの学力向上と主体的・対話的な深い学びの実現！！

(7)その他、地域活性化及び市民サービス向上に関すること

■ 市役所イノベーションの推進に向けた取り組み

・定型的な業務の自動化（RPA等）や、タブレット端末等を活用した市民とのホットライン等を導入することで生まれた時間を、市民からの要望事項等への迅速な対応に生かし、質の高い市民サービスの向上に向けて取り組めます。

RPAによる業務効率化



日々の定型作業にかかる時間と
コストをRPAで削減



作業ミスによるリスクや
追加稼働をRPAで削減



RPAなら業務で利用しているシ
ステムを改修せず業務改善を実現



RPAならすぐに業務改善を
実施可能

効率化した時間を市民サービス向上に活用！！